

1 開会（教頭）

2 会長挨拶（若園）

授業見学出来て良かった。  
よろしく願いいたします。

3 校長挨拶（校長）

第2回は書面開催

授業見学 学びなおし、基礎的な授業 少人数 静か いつも通り  
新型コロナ 変異株発見 危惧している。

6割がワクチン接種終えている。

水産科50周年記念式典 788名の卒業生 記念誌発刊し終了 手ぬぐい記念品  
オニテナガエビ 初出荷

関東・東海地区 第3位 小林 優作

鮭の遡上みられない。

メディアの取材は多いほうだった。

職人の集いにより壁がきれいになった。

就職について ほぼ決定 水産科らしく船乗りになる生徒もいる。

益子議員より 町議会で一般質問

那珂川町唯一の高校 魅力化進めていくことの提案あり。

新規採用教員3名 英語の授業で「将来の職業で大切なこと」に対し、「魚と触れ合えること」  
と生徒が答えていた。

第4回は2月開催

4 議事

(1) 第2回学校運営協議会の内容について

① 本校への進学希望者について 資料6 (P.12)

② 観点別評価について

評価基準の明確化 資料7 (P.13~14) ⇒ (2) で説明

③ その他

下宿について

入学希望をどう増やすか

(2) 学校の魅力化、特色化について

校長 教育目標の具現化について

健康で個性豊かな人格の育成

努力点 各学年、各部で検討している。

これさえやればというものはない 一日一日の積み重ねが大切。

- 若園 資料5のグランドデザインを参照すればよい  
馬頭ならではの観点があると良い。オリジナルが欲しい。  
例 チーム馬頭、水産と農業を中心にしてはどうか。  
次の世代に引き継ぎをしていけばよい
- 小川 那珂川町役場に馬頭高校から就職してほしい  
地域活性化のため、必要  
1・2年生から徹底的に勉強させる  
第1代目の制服が森英恵デザインと聞いたが？
- 若園 言い続けることが重要だと思う  
進路状況の公務員とは？
- 校長 自衛隊2名。
- 若園 役場希望の生徒はいないのか
- 田中 役場に勤めたい生徒はいる但那珂川町ではない
- 若園 強制はできないが、ぜひ地元就職を
- 岡 那珂川町の出生率が少ない昨年度は60名程度  
→小川と馬頭中学校統合の可能性あり。  
高校の存続は本当に可能なのか。60人全員が馬頭高校に入学しない。  
町としても、人が集まるための政策をしていかななくてはならない。  
例 観光に力入れる 企業誘致
- 小川 企業の誘致をしようとしても、高速道路がないと企業は来ない。  
交通の便が悪いのが致命的。  
高校存続以前に、町としての考えが大切。・・・高校生に考えさせてはどうか。
- 若園 関東バスについて
- 教頭 10月のダイヤ改正で、突然、学校から氏家駅へのバスの昼の便がなくなってしまった。定期テストや始業式・終業式など、16時までバスがない状態となり、保護者から関東バス、学校、町役場に意見があった。  
→町の協力で臨時便を出してもらった
- 若園 赤字路線で採算が取れないと企業として厳しいとは思いますが、お金がないからバスを出せないでは、地方は困る。働きかけをしていかななくてはならない。  
栃木県だけでなく全国で困っている。  
町自体の人を増やすことは難しくてもこれ以上減らさない。  
企業誘致は引き続きとりくむ。また、出遅れてしまっているが、リモートワークに対応することや交通の便をよくすることが必要。
- 大金 出生率 1.34パーセント 59名  
現在、県議会が開かれ、三森議員が学校再編について意見を出した。  
近隣高校 黒羽高校 メディアを利用し頑張っている  
茂木高校 公営塾  
危機感を持ち頑張っていけないといけない。  
メディアを使って魅力発信することが必要。馬高を無くさないために。

- 校長 資料6 10月1日時点での進路希望調査がある。  
日光明峰等特例校では茂木高校以外、定員に満たない。  
茂木の公営塾 同じようにはできないが、馬頭ならではの方法を考えていってはどうか。
- 若園 茂木の好調の要因は何なのか。状況がわからない
- 校長 茂木高校は3割が真岡市から来ているが、真岡鉄道があり交通の便がよい。  
これだというのはわからない。
- 若園 地元のスーパーなどでPRできないか。
- 校長 道の駅ではPRしている。
- 田中 新学習指導要領による観点別学習について  
早い段階で取り組んできた。  
4観点から3観点になり、a b c 評価が成績に明記される。  
単なる授業態度ではなく多様な評価をする。  
評価の観点と配点 割合は教科の特性により異なる。  
評価の方法 割合は教科の特性による。  
学習内容は具体的な学習のねらい・活動で評価していく。
- 吉成 主体的に学ぶという評価の変化がある。  
学習意欲に教師がどう働きかけるか。講義型では評価に耐えられない。授業改善を考えた方がよい。
- 田中 センター試験をうける生徒がいない。だからこそ、学びに力点を置き、基礎力をつけられる。
- 若園 授業中の発言により、コロナ禍で難しくはあるが、自己評価やグループ評価をしてはどうか。
- 吉成 授業参観して、生徒は落ち着いた授業態度だった。
- 校長 日頃からいつ見ても、今日と変わらない授業態度である。  
少人数で授業はやりやすい。
- 若園 卒業後は就職が多いことから、即戦力をつけていく。  
「きめ細かい指導」が馬頭高校の特性ではないか。  
うまくアピールしていくとよいのでは
- 高野 水産科見学した時、魅力を感じた  
中学校と連携できれば魅力化になる
- 菊地 大変すばらしいと思います
- 白相 一人一人の基礎力は就職に生かされる。  
仕事の内容は就職後に教えられる。高校での学習にしっかり取り組み、「しっかりできること」が即戦力となる。

### (3) その他

#### ○高校魅力化プロジェクトについて

校長 生徒に対し、「居場所の提供」「学び直し」「上位者を伸ばし進学支援」をめざし、  
(茂木高校の公営塾と内容は異なるが、)町と連携し、学校としてできることを考  
えていきたい。そのためにも、プロジェクトチームを作れないか。来年度の1年間  
かけて考え、令和5年度から実施できると良い。

小川 地域、学校、生徒が理解し、進めることが大切である。

公営塾よりも下宿が心配。それなりのやる気がある人を集めないと企画倒れとなる。  
地域、町も入れて考えるべき。

校長 導入ありきではなく、高校にとって、また、町にとって何が一番いいのかを考えて  
いきたい。

#### ○下宿について

青木 下宿生は現在4名いる。(2年生3名 1年生1名)

来年度は満室のままで、下宿するところがない。

(その他、1名が一人暮らしをしている。)

学期に1回以上は下宿先に様子を聞きに行っている。

新規に下宿開拓するための会合を開けていない。

大金 町で宿泊施設はある。

#### ○授業見学について

大金 授業参観し、先生と生徒の意思疎通ができており、コミュニケーション力が上が  
ると思った。とても良かった。

若園 授業を見ていただく機会はあるのか。

校長 ないが、いつでも個別に対応はできる。

若園 個人的に来ることは難しいと思われる。公開日を作った方が良いと思う。

#### ○那珂川町内の小中学校の動きについて

吉成 町内の小中学校もすべてコミュニティスクールとなる。

地域連携協働本部が立ち上がるので、馬頭高校にも参加していただきたい。

コーディネーターを介して小中高で連携ができると良い。

小高 高校も参画し、教員が異動してもできるようにしてほしい。

若園 ぜひ校長おねがいます

大金 最終処分場の検討 環境の学習を馬頭高校でできないか。学校再編ならないため  
に、普通科・水産科・環境科 三つ巴でぜひお願いしたい。

### 6 その他

(事務連絡)・第4回は2月17日(木)14:00~

### 7 閉会